

東北横断自動車道釜石秋田線(遠野～宮守間) 開通式 発言要旨 -H27.12.5-

安倍 晋三 内閣総理大臣



- ・東北横断道釜石秋田線、遠野IC-宮守ICの開通おめでとうございます。
- ・ここ遠野市は、全国から復旧・救援に向う自衛隊・消防隊・ボランティアの方々の後方支援の拠点として大きな役割を果たした。
- ・震災の経験を踏まえ、復興支援道路として整備されてきた道路が開通を迎え、地域の方々の喜びはいくばかりかと思う。
- ・今回の開通で、釜石～花巻までの横断道路は8割が完成、地域の復興・創生を図る上で、大きな役割を果たすことが期待される。
- ・一つは、地域の活性化。自動車産業の集積が進んだ内陸部と重要港湾釜石港が最短で結ばれ、新たな物流ルートを活用したビジネス拡大が期待される。
- ・また、岩手県が全国一の生産量を誇るホップも、ここ遠野から仙台工場まで、鮮度を保ったまま出荷される。遠野産ホップのみずみずしい華やかな香りが、全国に届けられていきます。
- ・もう一つは、地域の安全・安心を果たす役割です。災害時だけでなく、最新鋭設備を備えた内陸部の医療施設にも、速く、安全にアクセスできる。沿線地域全体の安心につながることを期待される。
- ・2019年には、先ごろ日本国内を沸かせたラグビーワールドカップが釜石で開催される。世界中から多くの選手・観客が、この道路でやってくる。たくさんの子供・若者に夢と希望、感動を与える大会となるよう、政府として最大限の協力をしていきたい。
- ・本日の開通に、長年の関係者のご努力に敬意を表し、地元と一体となって着実に復興を加速させていくことをお誓い申し上げます。

江島 潔 国土交通大臣政務官



- ・本日開通を迎えられたのは、地元用地提供者、事業推進にご協力いただいた関係者の皆様方のおかげとお礼申し上げます。
- ・国土交通省は、復興のリーディングプロジェクトとして、復興道路・復興支援道路の整備に全力で取り組んでいるところ。
- ・東北横断自動車道釜石秋田線の延長約80kmが、復興支援道路として位置づけられているところ。
- ・地元から力強いご協力をいただきまして、かつてないスピードで事業を進めている。
- ・釜石で開催されるラグビーワールドカップに間にあうようH30年度の全線開通を目指して、工事を推進しているところ。
- ・全線開通によりまして、約20分の時間短縮が図られ、釜石港の利用促進、コンテナ航路の誘致に期待されている。
- ・近年では、コンテナ取扱量が約10倍に増加し、利用企業数がH26年度には、20社を超えるなど、結果を見越した設備投資や企業の進出が明らかになってきている。
- ・また、遠野市は民話の故郷として知られ、河童淵、遠野ふるさと村など多くの観光地を抱えている他、周辺には世界遺産登録の橋野鉄鉱山や三陸ジオパーク等、多くの観光資源が点在している。東北横断自動車道の供用により、安定した観光周遊ルートが確立され、観光客の増加が期待されている。
- ・国土交通省としては、復興道路・復興支援道路の1日も早い完成に向け、最大限の努力をまいります。ご臨席の皆様方の変わりぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。岩手県、東北地方の1日も早い復興に全力で取り組むことを改めてお誓いします。

達増 拓也 岩手県知事



- ・仙人峠道路をはじめとする東北横断自動車道釜石秋田線は、震災時の救援救助活動を支える命の道として、有効に機能し、その重要性が再認識された。
- ・東北横断自動車道遠野宮守間は、国土交通省により平成15年度に事業化され、震災後は復興支援道路として位置づけられ、鋭意整備を進めていただいた。これにあわせ岩手県では、アクセス道路一般県道遠野住田線新里工区を事業化し相互に調整しながら本日、同時開通にいたしました。
- ・これも貴重な土地を提供いただいた地権者、地域住民・関係各位のご尽力・ご支援の賜であり、深く感謝申し上げます。
- ・この開通で、内陸部と遠野市街地が高規格ネットワークで結ばれ、速達性・定時性確保、災害時の信頼性の向上、物流の円滑・効率化、観光振興が図られる他、全国モデルに選定された道の駅遠野風の丘の拠点性の向上等様々なストック効果が、長期に発揮され、地域経済の好循環をもたらすものと期待されている。
- ・また、来年の「希望郷いわて国体・いわて大会」やH31年のラグビーワールドカップ釜石開催において、円滑なアクセスに大きく寄与するものと心強く思っているところ。
- ・岩手県では、国や県、関係市町村の皆様と一体となり、復興道路・復興支援道路の早期全線開通をはじめ、被災地の復興に邁進するとともに、人口減少に立ち向かうため、岩手で働く、岩手で育てる、岩手で暮らすの3つを柱とした、ふるさと復興施策の推進に県の総力をあげて取り組んでまいりますので引き続き、ご支援、ご協力をお願いします。

本田 敏秋 遠野市長



- ・東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻間)は、国土交通省が東日本大震災からの復興に向けてリーディングプロジェクトとして事業を進めてきたところであり、かつてないスピードでの事業進捗によりまして、このたびの開通を迎えることとなりました。
- ・これも国土交通省、岩手県、工事関係者、建設工事関係者そして、用地提供者皆様のご協力、御支援の賜物である。
- ・この開通により、永遠の「民話のふるさと遠野」も大きく変わろうとしており、平成30年度には東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通、国道340号の立丸峠のトンネル整備の完了で、遠野市の高速インフラが、拡充、強化される。
- ・横軸の東北横断道と縦軸である国道107号線、国道340号線などが結節するハブ機能の特性を持つ遠野市は、これを活かした広域的な物流拠点、広域観光拠点のまちづくりへの更なる取組みに邁進いたします。
- ・県央部と遠野市それに被災地沿岸自治体との広域の連携が深化され、相互の地場産業の振興や観光交流の発展に結びつくことは明らかであり、このたびの開通は新たな出発点である。
- ・横断道路のストック効果として、県外企業の進出や工場新設、拡張などが計画されており、その経済効果は大きく、「新たななりわい」の創出にもなることから、早期の横断道全線開通を強く願うもの。
- ・「災害に強い、復興道路関係ネットワークの早期実現」に向け、沿線自治体と住民の皆様が前進していくことをここに誓い合い、開通にあたっての挨拶とお礼とする。

黄川田 徹 衆議院議員



- ・11月29日の吉浜道路、そして東北横断自動車道遠野-宮守の開通、遠野市民はもとより、岩手県民の喜びひとしおのことと思う。
- ・神奈川県、静岡県知事からも祝辞があった。これは遠野市が、被災地沿岸の後方支援基地として、そして、全国からの支援に来て下さる方々の受け皿となったことを示している。
- ・震災直後、横断道の宮守東和は、復興支援道路として3月末開通を11月末に前倒して供用。今般も東北地方整備局 川瀧局長が事情をよく知っていることから早めの供用となったと思っている。
- ・当時、綾織の集落営農の田圃の真ん中を道路が通るということで、課題が多かったが、遠野市民は故郷のため、地域が前進するために協力しようという理解があったからだと思っているところ。
- ・高速道路の整備には調査や用地買収など時間がかかるものであるが、速やかに工事ができるのは、地域の協力があからだと思っている。
- ・東北横断道も三陸縦貫道もさらに延伸することは岩手県全体の底上げになること。また、遠野の皆様には、被災地は非常に感謝している。道路の物流は、港湾とのつながり。宮古・釜石・大船渡、非常に助けられたと感謝しております。
- ・開通式を通じて、復興が前進することを祈念します。

橋本 英教 衆議院議員



- ・私、大船渡出身でございます、中学の頃、バスで盛岡まで3時間かかった。
- ・ここまで1時間で来れるようになった。陸前高田、大船渡、住田町は、仙人峠道路の滝観洞ICが一番近く、遠野住田-遠野が開通すると私の故郷大船渡からは、2時間かからず、盛岡まで行けるようになる。
- ・私も政権与党の一員として、一日も速く、釜石までつながるよう努力して参ります。

<p>主賓 了 参議員議員</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の重要性は、今も昔も変わらず、戦車が走り回った古代ローマ、牛車が行きかった平泉平安時代、奥州街道の江戸時代、全く道路の重要さは変わらない。</li> <li>・道路の現代の意義は、産業経済の基盤であり、生活の基盤であります。</li> <li>・したがって、経済水準、生活水準にあわせ、どんどん拡充していかなければならないと思っております。</li> <li>・これまでご尽力してきた沿線市町村の皆様、岩手県、国土交通省の皆様、この道路に土地を提供して下さった皆様に敬意を表し、感謝申し上げます。</li> <li>・日本の人口は減少しているが、世界の人口は増加している。それは、日本国民に希望がなくなってきたのではないかと仮説をもっている。私たちは、このような道路の開通一つ一つを目に見える形で希望として提供していかなければならないと思っている。</li> </ul>
<p>大野 洋一 大野ゴム工業株式会社 代表取締役</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私ども昭和16年に港区虎ノ門に操業、来年度で75周年を迎える。自動車のゴム製品、工業用ゴム製品を製造販売している会社である。縁があり、遠野市に平成19年に上郷地区、平成21年に青笹の木工団地の森の国に入団し、事業を行っている。</li> <li>・岩手県、遠野市と本田市長はじめ、地元採用の社員が頑張っていたいただき、好調な業績を上げている。</li> <li>・したがって、こちらの地で生産力を増強している状況である。</li> <li>・復興支援道路の開通につきまして、地元の方々の安全性、利便性ばかりでなく、企業活動を行う大野ゴムにとっても恵みである。</li> <li>・大野ゴムは、今日の復興支援道路の開通式で、絆でつながりました。この遠野市より宮城県仙台営業所、栃木県の3事業所、東京本社、大阪営業所、福岡営業所が高速道路でつながります。</li> <li>・私どもの会社のテーマに、ものづくりは、人から人へ思いを渡す、思いを大事にするということを掲げている。この遠野の地で、当社の社員が生み出す、すばらしい製品を仲間の手で、真心こめて、お渡しする重要な道、これが、復興支援道路の開通だと思っている。</li> <li>・今一度、感謝の心を表したいと思えます。ありがとうございます。</li> </ul>
<p>川崎 謙信 筑波ダイカスト工業株式会社 遠野工場 取締役工場長</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波ダイカスト工業は、遠野インターのすぐ近くにあり、アルミニウム合金、非鉄金属合金の生産をしております。</li> <li>・遠野地域は、以前まで高速道路とは無縁であると思っておりました。1986東北横断自動車道の釜石秋田が新聞公開され、その後、2006年から地元説明会が始まり、土地の取引契約、伐採工事、整地と急ピッチで工事が進められました。</li> <li>・工事にあたっては、地域とのトラブルなく、計画どおりに完成され、工事関係者の皆様には、感謝申し上げます。</li> <li>・これから、高速道路を通じて、域外の方との交流、物流の利便性により、商売に広がりが出ると期待しております。</li> <li>・交通安全に留意して、仕事に、プライベートに活用したいと考えている。</li> </ul>